

買い物名人になろう — 計画的な買い物のコツを身に付ける —

(総授業時数：8時間)

実施学年、教科等

第6学年（第5学年での扱いも可能） 家庭科

題材の目標

- (1) 日頃の買い物の仕方を見直し、よりよい方法を考えようとする態度を身に付けることができるようにする。
- (2) 商品の選び方が分かり、工夫して購入することができるようにする。
- (3) 調理に必要な材料を考え、適切に購入することができるようにする。
- (4) 必要性を考え、計画的に金銭を使うことの大切さが分かるようにする。

学習の評価

- (1) 日頃の自分の買い物の仕方から問題を発見し、よりよい方法を見つけようとしている。(ワークシート)
- (2) 商品の選び方を考えながら、目的に合った適切な購入を自分なりに工夫している。(ワークシート・実践カード)
- (3) 調理実習に必要な材料を適切に買うことができる。(購入計画シート)
- (4) 金銭の大切さと計画的な買い物の必要性を理解している。(ワークシート)

展開の特色

- (1) 題材構成については、学習指導要領の内容D(1)「物や金銭の使い方と買物」と内容B(3)「調理の基礎」との関連を図って展開することとし、第一時で学んだ計画的な買い物の仕方を実際に応用できる場を設定している。
- (2) 子供の日常生活にありがちな買い物の仕方を寸劇にまとめた。劇を見たり演じたりすることを通して問題意識をもたせるようにするとともに、安易で無計画な買物(衝動買い)の問題を考え、必要性を考えて計画的に買い物をしようとする態度を身に付けさせるようにする。
- (3) 具体的な買い物場面を想定し、食品や文房具など、身近な商品について、適切な選び方が分かるようにする。また、情報を収集したり、選択したり、商品を比べたりして適切に商品を選べるようにする。
- (4) 計画的な買い物の仕方や商品の適切な選び方の学習を生かし、実際に調理実習をするために必要な材料の買い物をする。

その他

- (1) 題材では、調理実習を「野菜炒め」としたが、ゆでたり、炒めたりする調理については、学校の実態に合わせて題材を設定し、組み合わせて題材構成をすることが可能である。なお、調理実習にかかわる指導の詳細については省略した。
- (2) 学習指導要領の内容C(3)「生活に役立つ物の製作」の材料の購入に当たっても応用できる。

「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

*記号については、P.32～45を参照。

Aーア、Cーア、Dーア

学習内容のキーワード

買い物、衝動買い、計画、商品の選び方、品質表示、金銭の価値

1 金融教育のねじりと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に際して

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

● 指導計画

時数	ねらい	●学習活動	・学習内容	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
1 2 本時	【計画的な買い物】 ・寸劇を通して、計画的な買い物の大切さが分かる。	●「ある日の買い物風景」の寸劇を見て、自分の日頃の買い物の仕方に問題意識をもつ。 ・よく考えずに買ってしまおうと、どんな問題が起こるだろう。 ・衝動買いにはどんな問題があるのだろう。 ●必要性を考えて計画的に買うことの大切さが分かる。		◆金銭の価値認識と有効な利用 ◆主体的な判断力、行動力 ◆意思決定	★子供の家庭環境に十分配慮する。 ★子供の実態を把握しておく。 ★寸劇は子供に身近な事例を取り上げて設定する。	・ワークシート ・文房具店コーナー
3 4	【商品の選び方】 ・品質がよく、安全な物を選び適正な価格で購入することができる。 ・用途を考え、比較して選ぶことの大切さが分かる。 ・情報を集め、選択する方法が分かる。 ・商品についているマークや品質表示の意味が分かり、活用できる。	●商品の適切な選び方、購入の仕方を調べて話し合い、発表する。 ・家族へのインタビューを行い、商品の選び方をまとめよう。 ・目的に合ったものを選んで選ぶことが大切だ。 ・価格、店などを比較して買うとよい。 ・品質表示やマークにはどんな意味があるだろう。		◆商品の適切な選び方 ◆情報の選択 ◆意思決定	★食品など身近な商品を取り上げる。 ★日常、見聞きしていること、実際に経験したことなどをまとめさせる。 ★商品の実物や品質表示などを使って具体的に考えさせる。	・ワークシート (拡大品質表示や各種マーク)(注)
5 6	【調理の買い物】 ・野菜炒めに必要な材料を購入する。	●目的に応じた適切な材料や分量について考え、グループごとに購入計画を立てる。 ・三色炒めになるように、野菜の種類を考えたい。 ・おいしい野菜を選ぶにはどうしたらいいのかな。 ・新鮮な野菜の見分け方を調べよう。		◆商品の選択・購入	★どのように選択し、購入したか振り返らせ、次回に生かすようにする。 *商店等にはあらかじめ協力依頼をしておく。	
7 8	※ 【調理実習】 ・野菜炒めの調理をする。					

※ 野菜炒め以外の場合は、調理実習の配当時数が2時間を上回ることがある。

(注) ワークシートNo.2所載の各種マークには、より新しいマークが発表されているものもあるが、学校や家庭の備品、家電製品等には従来のマークが表示されている可能性が高いことに配慮した。



1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

本時の目標

ア：自分の日頃の買い物の仕方を見直し、問題に気付くことができるようにする。
イ：必要性を考えて計画的に買い物をすることが大切であることを理解し、実践に生かすことができるようにする。

●本時の展開

●学習活動	●学習内容 ▼予想される児童の反応例	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他	
導入 [ある日の買い物風景]	●寸劇を見て状況をつかむ。 <寸劇の内容> 新しいノートが必要になり、文房具店に買い物に来たところ、店内では、今流行のキャラクター付きペンケースを安売りしている。クラスの友だちも持っている子供が増えているペンケースである。店の人も「本日限り、半額」を強調して買わせようとしている。		★子供の家庭環境に十分配慮する。 ★子供の日常の買い物の仕方や金銭の使い方について実態を把握しておく。 ★寸劇は子供に身近な事例を取り上げて設定する。 ★買う側だけでなく、売る側の工夫等も浮き彫りにする。	・家庭科係の子供などに事前に簡単なメモを渡して演じさせてもよい。	
展開①	●自分ならどうするか考え、劇の続きとして演じて表す。 *売り手役の子供は売る側の工夫を考え、演じる。 ●演じた子供は、なぜそうしたのか発表する。 ●劇を見ている子供は友だちの発表を聞き、多様な考えがあることに気付く。	▼子供の発表例 ・「私は買いません。欲しいけれど、むだ遣いしないようにいつもお母さんに言われているし、叱られるから。」 ・「ぼくも買わない。他の店ではもっと安く売っているかも知れない。」 ・「まだ十分使えるペンケースを持っているので、それを大事に使いたくないから買わない。」 ・「いつも安いと思って買ってしまっけれど、同じような物ばかりたまってしまう結局使わないことが多く、反省しているからいらない。」 *売り手役「早く買わないと売り切れますよ。」 「友だちも持っているでしょう？」 ・「友だちが持っているとなつて欲しくなって買ってしまっけれど、お金が足りなくなって本当に欲しい物が買えなくなるから買いません。」 ・「今使っている筆箱は、入学前からの物で壊れそう。ちょうど新しい物を探していたところなので、安いときに買いたい。ぼくは買います。」	◆金銭の価値認識と有効な活用 無計画な買い物やむだ遣いの実態を見直し、計画的かつ有効に使うことが大切であることが分かる。 金銭の大切さが分かり、よりよく活用できるようにする。 ◆意思決定 友だちの様々な考え方を知り、自分の考えをもつことができる。 ◆主体的判断力 どのようにすればより適切なのか、自分なりに考えることができる。	★演技の上手下手ではないことを指導し、多様な考えが引き出せるようにする。 ★発言が少ない場合は、劇で演じることに抵抗のある子供は自分の考えを発表するだけでもよいことにしておく。 ★発表者に質問があれば聞いてもよいことにしておく。	
展開②	●自分の日頃の買い方を見直し、よりよい買い物の仕方を話し合う。	・無計画に買って失敗したと思うことなどを話し合う。 ▼店先で見たくなくなり、つい買ってしまった。 ▼友だちが持っていたので欲しくなったから。 ▼宣伝につられてしまった。 ▼安いと思って買ったけれど、すぐに壊れてしまった。 ・失敗しないようにするにはどうすればいいか考え、発表する。	◆金銭の価値認識 自分のこづかいであっても、家族の労働の対価であり、限りがあることを踏まえ、適切な使い方ができるようにする。	★劇の中に表された問題点をまとめながら、個々の実態に即して考えさせるようにする。 ★失敗経験のない子供がいれば、励まし、意欲の継続につなげる。 ★日頃の買い方等を見直し、どうすればいいか考えさせる。 ★具体的な事例が出されない時は、事前に保護者の思いなども録音しておいて聞かせる。	・テープレコーダー
まとめ	●よりよい買い物の仕方を考え、発表する。	・買う前に本当に必要かどうか、よく考える。 ▼買わずにすませる方法を工夫する（再利用、譲り受けるなど）。 ・これまでの買い物の仕方を振り返り、これから工夫したいことや実践したいことをワークシートにまとめる。	◆金銭の有効な活用 生活に生かす自分らしい使い方を追求させる。	★失敗をなくするために工夫していることがあれば、発表させるようにする。	・ワークシート ・実践カード

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

●教材・資料等 (授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

買い物名人になろう (No.1) 6年 組 ()

「計画的な買い物」

1. 「ある日の買い物風景」の劇を見て考えましょう。

①あなたも同じような経験がありますか。

②もしあなたならどうしますか。

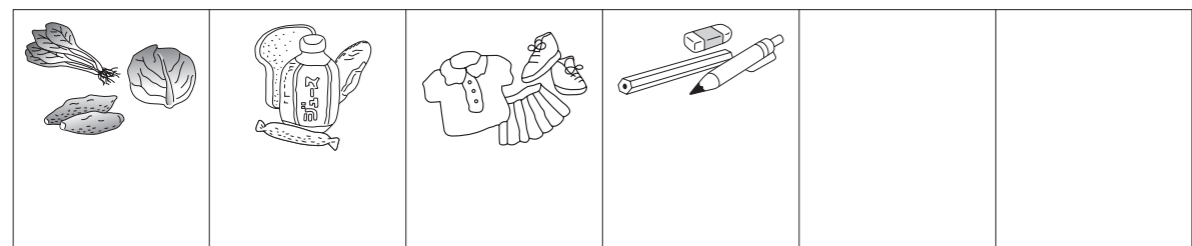
2. 買い物をして「失敗したな」と思うことがあったら書きましょう。

3. 今日の学習で分かったことやこれからの生活に生かしたいことを書きましょう。

買い物名人になろう (No.2) 6年 組 ()

「商品の選び方」

1. いろいろな商品の選び方を調べましょう。



2. 商品についているマークや品質表示の意味を調べましょう。

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料